１９　助言と提案

19.6

Kate: You look exhausted, Giorgos. Are you okay?

Giorgos: I’m just tired, thanks, Kate. I started work at 6 o’clock this morning.

Kate: But it’s 8 in the evening! You should go home now. It’s dark outside.

Giorgos: But I have to finish this presentation.

Kate: You have been the first person in to the office and the last one to leave for weeks. You shouldn’t be coming into work at 6 o’clock every day. You need some more sleep.

Giorgos: Oh, I’m not sleeping very well because I’m worried about all the work I have to do.

Kate: Oh dear! This really isn’t very good, Giorgos. You must talk to your boss about this.

Giorgos: But he gave us all the work to do in the first place!

Kate: Where are your team members? You ought to share some of the work with them. Have a meeting and delegate some of the tasks.

Giorgos: I know. I get the point.

Kate: You really will make yourself sick. You look awful.

Giorgos: You do have a point. I’ve hardly seen my family this week.

Kate: Well, you should spend more time with them. Go home now and don’t come in early in the morning. I’ll see you tomorrow and we can talk more if you want. I’m always here.

Giorgos: Thanks. See you later.

ケイト：ジョルゴス、ずいぶんお疲れの様子ね、大丈夫？

ジョルゴス：まあね、お気遣いありがとう、ケイト。今朝は6時から働いてるんだ。

ケイト：まあ、もう夜の8時よ！　早く帰らなくちゃ。外は真っ暗よ。

ジョルゴス：でも、このプレゼンの準備を終えないと。

ケイト：あなたって、いつも朝一番に出社して、退社するのは一番最後。もう何週間もそう。毎朝6時に出社する必要なんてない。もっと睡眠を取らなくちゃ。

ジョルゴス：ああ、このごろよく眠れないんだ。引き受けた仕事が気になってね。

ケイト：ダメよ！　そんなの絶対によくない。このこと、あなたのボスに話さなくちゃ。

ジョルゴス：でもね、そもそも僕らに仕事を押しつけたのはボスなんだ！

ケイト：チームの仲間はどうしたの？　みんなと仕事を分け合わなくちゃ。ミーティングを開いて、仕事の一部をまかせたらいい。

ジョルゴス：分かってる、分かってるよ。

ケイト：あなた、これじゃ病気になっちゃう。げっそりしてるじゃない。

ジョルゴス：おっしゃるとおり。今週はほとんど家族の顔も見てないんだ。

ケイト：そうね、まずはもっと家族と一緒の時間を増やすこと。早く帰って、明日は早出をしないことね。なんなら明日また会って、もっと話し合いましょ。私はずっと社内にいるから。

ジョルゴス：ありがとう。じゃあまた。

19.12

あなたの健康

仕事でストレスが溜まっていませんか？

専門家が忙しい仕事の乗り越え方をアドバイスします

大量の仕事で健康を損なわないためには、ストレスの原因を知る必要があります。そして、次のような過剰ストレスの兆候に気づくようにしましょう。

・憂鬱になる

・よく眠れない

・集中できない

・頭が痛い

それができたら、運動や食事改善などの前向きな対策を練りましょう。ランチタイムはしっかり休みましょう。これで夜はぐっすり眠れます。夜や就寝前のルーティンをもっとリラックスできるものに変えるのはどうでしょう？　睡眠はとても大切ですから、十分にとってください。最後に、自分の感じていることを人に話すようにしましょう。

２１　能力について話す

21.8

Nick: Hi, Shona. I thought we’d meet on the warehouse floor because I wanted to talk about your future as well as review your past 12 months.

Shona: OK. [laughs] It’s less scary than sitting in your office.

Nick: Don’t worry, Shona. I’ve seen that you’ve done very well so far this year.

Shona: Yes, I like working in the logistics department. I like working out the best routes for the delivery people.

Nick: Your hard work has saved us thousands of dollars this year, and could also save us much more in the future. We would like to thank you for this by offering you a bonus of $500.

Shona: Wow. Thank you very much, Nick.

Nick: You’re welcome. We’ve also seen that you can work very well with less experienced staff here.

Shona: Yes, I’ve really enjoyed training people this year.

Nick: Well, we think you would make an excellent team leader and we’d like to offer you a promotion to Logistics Manager. You would be responsible for a team of around ten people.

Shona: That would be great! Thanks, so much.

ニック：やあ、ショーナ。倉庫フロアなら君に会えると思っていたよ。実は君の将来について話がしたくてね、この1年の勤務評定についてもね。

ショーナ：いいですよ（笑い）、あなたのオフィスで面談するよりは恐くなさそう。

ニック：悪い話じゃないんだ、ショーナ。この1年、君は実によくやったと思っている。

ショーナ：ええ、物流部の仕事は気に入ってます。配達の人に最適なルートを見つけてあげる仕事は楽しいです。

ニック：君の献身的な働きのおかげで、今年は何万ドルも節約できたし、長い目で見ればもっと節約できる。感謝のしるしに、君に500ドルのボーナスを出すつもりだ。

ショーナ：まあ、ありがとうございます、ニック。

ニック：当然だよ。それに君は、経験の浅いスタッフとも実にうまくやっている。

ショーナ：ええ、今年はトレーニングの仕事も楽しませていただきました。

ニック：そこでね、君は素晴らしいチーム・リーダーになれると思うので、君を物流部門のマネジャーに昇格させることにした。今後は10人ほどの部下を率いることになる。

ショーナ：光栄です！　本当にありがとうございます。

★注

見つけてあげる（working out）。今でこそワークアウト（workout）は「健康のために身体を鍛える」の意で用いられているが、本来は「努力して〜の答えを見つける」の意。

何万ドル（thousands of dollars）。文字どおりには「何千ドル」だが、忘れるなかれ、英語には「万」という単位がない。英語では、"thousand"（千）の上の単位は"million"（百万）。つまり"thousand"の複数形（thousands）は2000から99万9000までの範囲をカバーしている。だから実態としては「数万」の可能性が高い（そもそも数千ドル程度の増益に対して500ドルのボーナスを支給するわけがない）。

２２　比較・対照する

22.4

I hope everyone had a great day today. We try to make our team-building days challenging but we also hope you had some fun, too.

Now, some feedback. For the first part of our team-building day, we asked you to walk across rope bridges in the treetops. This is a test of how well you can overcome fear. Equally, it’s a test of how well you support each other. Now, Team Bear had some of the tallest people here today. However, those people were also the most scared of heights, and progress was slow. As soon as you slowed down and offered your teammates support, you progressed more quickly.

While Team Bear had some teammates who don’t enjoy heights, Team Lion seemed to have no fear at all. You finished the challenge quicker than Team Bear, but you also argued more as well. My advice to Team Lion is to slow down and listen to each other more.

みなさん、本日は素晴らしい一日でしたね。私たちの提供するチーム作りイベントは、生やさしいものではないですが、ちょっとは楽しんでいただけたかと思います。

さて、フィードバックです。今日のイベントでは最初に、木と木の間に渡したロープ橋を渡ってもらいました。いかにして恐怖心を克服するかのテストですが、同時にサポート精神のテストでもあります。さて、チーム・ベアにはひときわ背の高い人が含まれていましたが、彼らは高所恐怖症でもあり、なかなか前へ進めませんでした。しかし、そんな方が立ちすくむと、すぐにチームメイトが励ましてくれたので、少しは速く進めるようになりました。

高所の嫌いな方もいたチーム・ベアと違って、チーム・ライオンのみなさんは恐怖心と無縁のようでした。それでチーム・ベアよりも先にフィニッシュしましたが、口論が多かったですね。チーム・ライオンのみなさんはあまり先を急がず、お互いの意見をもっと聞いたほうがいいでしょう。

22.8

マネジメントのヒント

チームを作る

CEOルシア・ゴメスが語るチーム作り

当社では少なくとも年一回、社員全員をチーム作りの研修に派遣しています。これまでに、チーム作りを目的とした宝探しや、問題解決研修を行ってきました。しかし、どんな活動をしたかはそれほど重要ではありません。大切なのは、オフィスの外へ出て、効率的にコミュニケーションをとらねばならない何かをすること、そして互いに支え助け合うことです。これらの活動中に、リーダーの素質がある社員を容易に見つけることができます。こうして未来のマネジャー候補を選出し、昇進の早道であるマネジメント研修に送り込むケースもあります。

２３　行事を計画する

23.5

テクノロジー・ウィークリー

今年のスマートテック・フェアは必見！

東京を拠点とするスマートテック・フェアは世界最大級のITフェアです。1987年のスタート以来、年々規模も大きくなり、内容も充実してきています。

注目のセミナーをお見逃しなく。

コンピュヘルス・セミナー：業界の専門家が、より健康な暮らしにスマートテクノロジーがいかに貢献するかに迫る。

自動運転車：この最先端の乗り物が自動車業界をどう変えていくかを探る。

ご関心のある方はオンラインで登録を。チケットはスマートテックのウェブサイトにて先行販売中です。

23.9

Sunita: Darren, have you got a moment?

Darren: Sure, Sunita. What is it?

Sunita: Well, as you know, Mr. Yoshizu and Mr. Yamada are visiting our office next week.

Darren: Yes, I’ll be at the meetings.

Sunita: So, we’ve got meetings all day on Monday and Tuesday, from 9:30 to 5, and then there’s the conference on Wednesday.

Darren: I know. There’s a lot going on!

Sunita: I know. We’ll all be working hard. So I’ve been considering organizing something fun, so we can entertain our clients when we’re not in the office.

Darren: You mean like take them out for dinner, that kind of thing?

Sunita: Yeah, exactly. Mr. Yamada has never been to the US before, and I was thinking we could take him out to dinner one evening if there’s time.

Darren: That’s a good idea. Or maybe, if we finish early one day, we could go sightseeing with them.

Sunita: That’s a really great idea.

スニータ：ダレン、ちょっと時間ある？

ダレン：あるよ、スニータ。何だい？

スニータ：あの、知ってると思うけど、ヨシズさんとヤマダさんが来週、うちのオフィスに訪ねて来るの。

ダレン：ああ、僕も彼らとのミーティングには出るよ。

スニータ：ええ、だから月曜と火曜は朝の9時半から夕方5時まで、ずっとミーティングばかり。それで水曜はカンファレンスがある。

ダレン：そうだね、やることがたくさんあるな！

スニータ：そうでしょ、みんなすごく忙しくなる。だから私、何か息抜きになることができないかって考えてるの。仕事以外の時間に何かでクライアントをもてなすとか。

ダレン：つまり、ディナーに誘うとか、そういうこと？

スニータ：ええ、そのとおり。ヤマダさんはアメリカ初めてでしょう。だから、時間があったら一度、ディナーにお連れしようと思うの。

ダレン：いいアイディアだ。あるいは仕事を早めに切り上げて、観光に連れて行くとか。

スニータ：それって素晴らしいアイディアね。